

## 琵琶湖・CO<sub>2</sub>ネットゼロ対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和4年8月18日（木）

### 2 調査の概要

#### (1) 豊通ペトリサイクルシステムズ株式会社（日野町鳥居平）

豊通ペトリサイクルシステムズ株式会社は、廃棄されたペットボトルを選別、粉碎・洗浄し、飲料ボトルの原料への再資源化に関西で初めて取り組む会社として、2020年に設立され、本年4月より事業を開始した。本委員会では、琵琶湖保全再生施策に関する計画の推進およびマザーレイクゴールズ（MLGs）の推進についてを重点調査項目の一つとしており、今後の委員会活動の参考とするため、同社を訪問し、循環型社会の実現に向けた取組について調査を行った。



#### (2) 木材流通センター（東近江市尻無町）

木材流通センターは、県内の森林組合や素材生産業者から原木を受け入れ、丸太の品質に応じて、建築用材、合板用材、チップ用材など用途別に仕分けを行い、最も有利な販売先に出荷する県産材安定供給の基地として役割を担っている。

本委員会では、琵琶湖をとりまく森林および治水対策についてを重点調査項目の一つとし、県産材の利用促進に係る条例の制定を目指して調査研究を行っている。については、今後の委員会活動の参考とするため、同センターを訪問し、県産材の安定供給に関する取組について調査を行った。



### (3) 多賀町中央公民館（多賀町久徳）

多賀町中央公民館は、その約96%が多賀町産木材で構成されるなど、県内屈指の林業地帯の特徴を生かし、平成31年4月にリニューアルしオープンした。令和2年度には、「公民館を広く開放して、使える木の空間として地域の活動を支えながら、町民との協働で林業再生を目指している施設」として、一般社団法人日本ウッドデザイン協会が実施するウッドデザイン賞を受賞した。

今後の委員会活動の参考とするため、施設の概要を調査するとともに、県民参画委員会として、多賀町産木材の活用を中心とした地域活性化事業に取り組む、森林所有者や製材所、建築士などを構成メンバーとする多賀森林循環事業協同組合との意見交換を実施した。

